

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	1-2-3			事業名	児童会館における中・高校生の利用促進													
達成目標の状況																		
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)												
夜間利用実施館数	20館	40館	60館	80館	104館	104館												
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)																		
<p>市民との連携、市民参加 夜間利用をきっかけとして、中・高校生が町内のお祭りにボランティアスタッフとして参加するなど、地域住民との交流促進が図られ、まちづくりの推進に寄与した。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 夜間利用の新規実施館について、町内会等の会議や学校において個別に事業説明を行い、理解促進に努めたところ、地域住民や学校の児童会館事業全般に対する関心が深まり、館の行事等への参加や見守りなど協力が増えてきた。</p>																		
評価(成果)			課題															
<p>より多くの中・高校生が、児童会館を利用できるよう、夜間利用実施館の拡大を計画的に進めてきたところ、平成18年度から実施した館(20館)を中心に、利用者数の増加が見られた。このことから、中・高校生の利用促進が図られ、地域における居場所のひとつとして年々定着してきているといえる。</p> <p>【利用実績】(利用人数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延べ人数</th> <th>1館1回当たり平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>17,735人</td> <td>9.2人</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>32,628人</td> <td>10.3人</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>57,394人</td> <td>9.9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、児童会館において、利用者からの相談(進路や友人関係など)に応じるケースも見られ、地域における気軽な相談場所としての機能も果たしている。</p> <p>さらに、多くの児童会館では、夜間利用をきっかけとして、中・高校生と児童会館とのつながりが深まったことにより、異年齢交流の一層の促進、ボランティア活動の広がり、地域住民と児童会館の関わりの強化など、中・高校生自身の成長につながるような効果が現れてきている。</p>			年度	延べ人数	1館1回当たり平均	H18	17,735人	9.2人	H19	32,628人	10.3人	H20	57,394人	9.9人	<p>今後も実施館を拡大し、平成22年度での夜間利用の全館実施を目指しており、利用に当たっての地域間格差を解消するために、夜間占用利用団体との調整が必要であるが、当該団体の活動内容等に配慮しながらも本事業への理解を求めていく必要がある。</p> <p>また、未実施の地域には、本事業に対する住民の理解が低い地域もあることから、本事業の円滑な実施のためには、事業成果のPRや地域との交流促進につながる事業を充実させることで、地域の理解の向上に努めるとともに、実施回数や実施方法等についても柔軟な対応が必要である。</p> <p>利用人数について、全体としては、増加傾向にあるが、館毎の格差が大きい。このため、中・高校生のニーズに応じ、館毎の特色を持たせた活動や行事を企画するなど、より一層の工夫が必要である。</p>			
年度	延べ人数	1館1回当たり平均																
H18	17,735人	9.2人																
H19	32,628人	10.3人																
H20	57,394人	9.9人																
今後の事業の予定・方向																		
<p>平成22年度での夜間利用の全館実施を目指し、実施館を拡大していくとともに、今後においても、児童会館が、「中・高校生の地域における居場所のひとつ」として十分な役割を果たしていけるよう、実施状況や事業内容を検証し、利用しやすい環境整備、地域との連携や中・高校生の主体性に配慮した取組の充実などを図ることが必要である。</p>																		

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		1-2-3		事業名	児童会館における中・高校生の利用促進			
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	12,500	37,450	55,650	77,400	183,000		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0	0	0	0		
	市の債	0	0	0	0	0		
	その他の他	0	0	0	0	0		
一般財源	12,500	37,450	55,650	77,400	183,000			
予算	事業費	12,500	34,745	51,490	-	98,735		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0	0		0		
	市の債	0	0	0		0		
	その他の他	0	0	0		0		
一般財源	12,500	34,745	51,490		98,735			
実績	事業費	11,629	33,300	-	-	44,929		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0			0		
	市の債	0	0			0		
	その他の他	0	0			0		
一般財源	11,629	33,300			44,929			
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					52.7%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
(全体)								
[19年度]								
[20年度]								
[21年度]								